

## 算数科学習指導案

単元名：「わかりやすくせいりしよう」

学 級：第1学年

指導者：

### 1 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領算数科第1学年、「Dデータの活用」の指導事項（1）「絵や図を用いた数量の表現」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、身の回りの事象に関心を持ち、個数に着目して簡単な絵や図に表したり、それらを読み取ったりすることでその事象の特徴を捉え、分かりやすく表現できることをねらいとしている。また、日常生活の問題を、具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりすることもねらいとしている。この内容は、第2学年の簡単な表やグラフを用いて考察することの素地となるものである。

略

- 指導上の留意点は以下の通りである。
  - ・生活科との関連を図り、新一年生に喜んでもらえる遊びを考えて整理することを通して、算数科の学習が他教科や日常生活に生かすことができることを理解させたい。
  - ・ランダムに並んだ絵を、どの個数が多いか一目で分かるようにするためにはどうすればよいかを問うことで、ものの個数を数えたり比べたりするには、それぞれの種類ごとに分類して並べることで整理しやすくなることに気付かせたい。
  - ・意図的に絵の大きさの違うものを用意して並べさせることで、個数が比べにくいことに気付かせ、縦と横が等間隔になっていること、大きさを揃えることが必要なことに気付かせていく。
  - ・絵に印を付けながら色を塗らせることで、重なりや落ちがないようにしていく。
  - ・下から順に塗るようにすることで、長さの比較の観点をを用いて端を揃えると比較しやすくなることに気付かせる。
  - ・絵グラフで整理したことをもとに、新一年生とどんな遊びをするかを考え、実際の生活科の活動と関連させることにより、算数科の学習を他教科や日常生活に活かすことができることを理解させるとともに、今後の生活にも生かしていこうとする態度を育てたい。

### 2 単元の目標及び内容について

- ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、読み取ったりする。  
【D（1）ア（ア）知識及び技能】
- データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉える。  
【D（1）イ（ア）思考力、判断力、表現力等】
- 簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じて、今後の学習や生活に活かそうとする。  
【学びに向かう力、人間性等】

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ものの個数を種類ごとに簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりしている。	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。	ものの個数を簡単な絵や図を用いて表したり、特徴を捉えたりすることを通して、分かりやすく整理することのよさに気付き、今後の生活や学習に生かそうとしている。

### 4 単元構想

本質的な問い	単元を貫く問い
整理することは、どのようなことに役立つか。	分かりやすく整理するためには、どうしたらよいだろうか。

### 5 指導と評価の計画 (全3時間) 他教科との関連

時	学習内容	評 価			
		知	思	主	評価規準 (評価方法)
	<b>生活科</b> 「もうすぐ2ねんせい」 ○新一年生に喜んでもらえる遊びを考える。				
1	○新一年生に喜んでもらえる遊びを分かりやすく整理する方法を考えようとする意欲をもつ。 ○魚釣りゲームの結果から、種類ごとに分類整理して、簡単な絵グラフに表す。 本時	○			・魚釣りゲームの結果を、種類ごとに分類整理して、個数を簡単な絵グラフに表している。 (行動観察, ワークシート)
2	○魚釣りゲームの結果の絵グラフから、データの個数の特徴を読み取り、事象の特徴について考える。		○		・データの個数に着目し、個数の大小やどの項目がどの程度多いかなどを考えている。 (行動観察, 発言, ワークシート)
3	○新一年生に喜んでもらえる遊びを分類整理して、簡単な絵や図に表し、数量の特徴を読み取る。 ○自らの学びや学び方を振り返る。	◎		○	・ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵グラフに表したり読み取ったりしている。 ・ものの個数を簡単な絵や図を用いて表したり、特徴を捉えたりすることを通して、分かりやすく整理することのよさに気付き、今後の生活や学習に生かそうとしている。 (行動観察, 発言, ワークシート)

## 6 本時の学習

### (1) 目標

- 魚釣りゲームの結果を種類ごとに分類整理し、絵の大きさを揃えたり等間隔に並べたりすることの必要性に気付き、個数を簡単な絵グラフに表すことができる。

### (2) 評価規準

- 魚釣りゲームの結果を種類ごとに分類整理して、絵グラフに表す必要性に気付き、個数を簡単な絵グラフに表している。

【知識・技能】

### (3) 本時の学習展開（1時間目／全3時間）

学習過程	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て ★評価規準〔観点〕（評価方法）
導入	<p>1 単元の目標を確認する。 ○新一年生に喜んでもらえる遊びを考えるために、分かりやすく整理する方法を学習していきましょう。</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。 ○どうすれば、何が多いか分かりやすくなりますか。 ・数を数えればいい。 ・並べたらいい。</p> <p style="text-align: center;">— めあて — わかりやすく せいりする ほうほうを かんがえよう。</p> <p><b>本時のゴールの見通し</b></p> <p><b>A</b>：魚釣りゲームの結果を種類ごとに分類整理し、絵グラフに表す必要性に<b>進んで</b>気付き、簡単な絵グラフに表している。</p> <p><b>B</b>：魚釣りゲームの結果を種類ごとに分類整理し、絵グラフに表す必要性に気付き、簡単な絵グラフに表している。</p>	<p>◇生活科と関連して算数の学習を生かすことを確認する。</p> <p>◇釣りゲームの結果を提示し、種類ごとの個数を分かりやすく整理する方法を考える見通しをもたせる。</p> <p>◇数え間違いをしない方法を考えるように伝える。</p>
展開	<p>3 整理の仕方を考える。 ○並べると何が分かりやすくなりましたか。 ・数が数えやすい。 ・多いものが分かる。 ○並べたものを見て気が付いたことはありますか。 ・一番長いのが多いものではない。</p> <p>□思考の場の工夫【いろいろな見方・考え方】 絵を並べたときのよい点と改善点を見付け、さらに分かりやすく整理する方法を考える。</p>	<p>◇数えやすくなったことや、端をそろえることで見やすくなったことに気付かせる。</p> <p>◇大きさが異なることで数を比べにくいことに気付かせ、横や縦を均等にそろえることの必要性を引き出す。</p>

展 開	<p>4 絵グラフに整理する方法を確かめる。 ○色を塗って整理しましょう。</p>	<p>◇間違いを防ぐために、並んでいる絵に1つつ印をつけながら塗らせる。 ◆印を付けながら塗ることが困難な児童には、数えるときに、数字を書き込ませることで、塗り間違いが無いようにさせる。 ◇長さ比べのときのように、端をそろえるために、下から塗ることを伝える。 ★魚釣りの結果を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表している。 〔知識・技能〕(ワークシート)</p>
	<p>5 整理することのよさについて考える。 ○絵グラフと並べたものを比べて気が付いたことはありますか。 ・数えやすい。 ・絵の大きさが同じ。 ・縦、横がそろっている。 ・一番多いや少ないが分かる。</p> <p>6 まとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まとめ えのおおきさをおなじにしたり、たてとよこをそろえてならべたりすると、かずをくらべやすい。</p> </div>	<p>◇絵グラフと並べた絵の違いを見付けさせ、整理する方法に気付かせる。 ◇絵の大きさ同じにし、端をそろえて均等に並べることで、長さで数を比べられることに気付かせる。</p>
ま と め	<p>7 本時の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【ホップ】 大きさや縦、横をそろえて並べたり、絵グラフに色を塗ったりすると、数を数えたり比べたりしやすくなることがわかった。</p> </div>	<p>◇「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の振り返りの観点から選択して書かせる。</p>

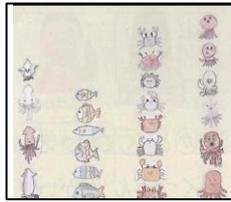
(4) 板書計画

めあて

わかりやすく せいりする  
ほうほうを かんがえよう。



- ・かぞえる。
- ・ならべる。



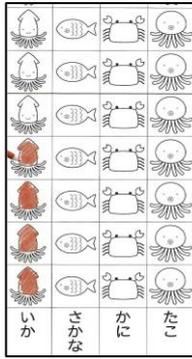
- ・かぞえやすい。
- ・おおいものがわかる。
- ・いちばんながいものがおおいものではない。

まとめ

えのおおきさをおなじにする。たてとよこをそろえてならべる。

↓

かずをくらべやすい。



- ・かぞえやすい。
- ・えのおおきさがおなじ。
- ・たてとよこがそろってならんでいる。
- ・いちばんおおいやすくないがわかる。